

玄海原子力発電所における防災訓練実施結果報告書の要旨

防災訓練実施日	平成 2 5 年 1 月 3 1 日	平成 2 5 年 3 月 1 5 日	
想定した原子力災害の概要	全交流電源喪失により原子炉の冷却機能が全て喪失し、原子力災害対策特別措置法第 1 5 条事象に至る原子力災害を想定		
防災訓練の項目	総合訓練		
防災訓練結果の概要	○参加人数	9 2 5 名（協力会社 5 4 3 名）	4 7 3 名（協力会社 2 0 5 名）
	○内 容	(1) 通報訓練 (2) 避難誘導訓練 (3) 原子力防災要員の動員訓練 (4) モニタリング訓練 (5) 緊急時対応訓練	(1) 通報訓練 (2) 避難誘導訓練 (3) 原子力防災要員の動員訓練 (4) モニタリング訓練 (5) 緊急時対応訓練 (6) 緊急時操作演習
	○評 価	・ 非常事態発生時に発電所として対処すべき必要事項の処置の実施・確認を行うとともに、夜間時に緊急事態が発生した場合にも、緊急安全対策による対応が確実にできることを確認できた。	・ 複数の原子炉が運転中の状態で原子力災害が発生した場合でも、事故対応が適切に行われ、福島第一原子力発電所事故を受け実施している安全対策による対応が確実にできることを確認した。
今後の原子力災害対策に向けた改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内周知している津波警報について、今後は、警報解除の情報も所内周知を実施する。 ・ 夜間作業時にヘッドライトの明かりだけでは暗かったため、車両のヘッドライト等を有効に活用し、明かりを確保するよう検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対策本部内の情報共有について、本部長からの周知や各班からの情報連絡方法を検討する。 ・ テレビ会議中、本部内の対応が中断したことから、テレビ会議の運用方法を検討する。 ・ 今回、通常回線を用いた通報訓練は問題なく行えたが、今後、衛星回線を用いた通報訓練の実施を検討する。 	

(参 考) 個々の緊急時対応訓練についても、平成 2 4 年 9 月 1 9 日から平成 2 5 年 3 月 3 1 日の期間内で、計 1 9 6 回実施している。